

2022年 3月例会 筑波山観梅と山下りウオーク

開催日 :	2022年3月16日(水)
集合場所 :	筑波山神社入り口バス停広場
集合時間 :	8時30分~9時
開会式 :	9時~9時15分 終了後スタート
コース :	神社入り口バス停広場→筑波山梅林→筑波山神社→宮脇駅→(ケーブルカー) →筑波山頂駅→御幸ヶ原→女体山山頂→白雲橋コース(一部)→おたつ石 コース→つつじヶ丘→迎場コース→神社入り口バス停広場
ゴール時間 :	14時30分
距離 :	9km 団体歩行
参加者 :	15名(会員8名)
天候 :	晴れ/曇り

〈ウオーキング状況〉

1000種以上の植物が群生し、山頂に巨石や奇岩を有しジオパークの中心になっている筑波山。つくば水郷国定公園内のウオーキングと、筑波山系の低山トレッキングを主な活動舞台としている本会にとって筑波山はその主対象の一つ。しかし、日頃山登りに慣れていないウオーカーにとっていきなり800m級の山はきつい。そこで山麓の筑波山梅林を楽しみ、ケーブルカーの助けを借りて山頂へ行き、若干山登りをして山下りウオークで締める例会を企画した。

好天に恵まれ県外を含む多くのウオーカーに参加して頂きました。まず標高250mにある筑波山梅林に向かう。山麓の斜面に咲く梅を見ながら梅林を登っていくと、見頃の紅梅・白梅の景観を眼下に見渡せ参加者の皆さんいたく感動。その後、由緒ある筑波山神社を参拝し、ケーブルカーで男体山と女体山の間にある標高約800mの御幸ヶ原まで行く。記念写真を撮り、100m程登り女体山山頂へ。疲れたとの声もチラホラ聞こえたが、雄大な関東平野を一望して元気づけられた感じだ。

筑波山のパワースポットであるガマ石、北斗岩、出船入船、弁慶七戻りなどを間近に見ながら急勾配の岩場を下って行くと、平らで視界が開けた弁慶茶屋跡地に辿り着いた。皆さんほっとして、ベンチに腰掛け、昼食のため小休止。その後、見晴らしの良いつつじヶ丘高原を経て、更に少し下るとつつじヶ丘登山口に到着。休憩後、おたつ石コースを離れ筑波神社まで続く緩やかな迎場コース(森林浴コース)へと進む。歩きに余裕が出てきて会話も弾み、どうにか全員神社入口に無事戻ることが出来ました。

2月下旬、山頂に残雪及び凍結箇所があったので、開催日を1週間延期した。小・中学生も登る一般的ルートながら、急な岩場のある下りは特に注意が必要で、助け合い、励まし合いながら歩いた。県内の方なら誰でも仲間とまたは家族連れで数回登ったと思われる筑波山を、徐々にウオーキング仲間(平均年齢70歳以上)と一緒に新鮮な気分で山歩きを楽しんだという印象。日々のウオーキングで足腰を鍛え、次回は正真正銘の筑波山トレッキングを試してみたいものだ。

(戸田)